



チャンスでフルスイングする拓馬さん。
夏休みは部活はもちろん、宿題も頑張りました。「毎日朝ごはんを作って送り出してくれる祖母と母に感謝してます」と話してくれました。

町内対抗 野球大会

8月3日⑨に開幕した第58回町内対抗野球大会（通称・盆野球）に、同じユニフォームに身を包み出場した親子がいました。西ノ根宮内中島（24区）の齊藤親子です。かつて少年野球チームで監督と選手の関係であった親子が「チームメイト」として勝利を目指し、グラウンドを駆け抜けました。



子どもの成長を身近で感じながらプレーできることに喜びを感じています。一緒にプレーできる時期は、いつまであるかわかりません。だからこそ今の時期を大切にしたいという思いが強いです。野球を通じて生きる力を育んでもらいたいと願っています。

父・隆之さん
(43歳)



子・拓馬さん
(邑楽南中2年)

小学3年生で野球を始め、今は中学校の野球部に所属しています。ポジションはピッチャーです。父と盆野球に出場して驚いたのは、打席に立った父の集中力と積極的な走塁です。見習いたいと思いました。しっかりトレーニングして上を目指したいです。



父が息子の熱投を守備で盛り上げる場面も



のばした後は切りの作業です。同じ太さにするのはなかなか難しいようです。大きい包丁なので、作業は真剣です。

参加した

小暮親子
(水立大黒・23区)

恵美子さん
さくらさん(小2)



夏休みはバスツアーで山梨県へ出かけた小暮親子。ぶどう狩りをしたり、ロープウエーに乗ったりして楽しい思い出を作りました。生地がちぎれないように注意しながら、協力してのばしていきます。



頑張って打った後のおそばの味は格別でした。恵美子さんは「パパが買った道具を使って、家でも作ってみようかな」と話していました。小暮家に新たな手作りレシピが加わりました。

さくらさんは、おばあちゃんが作ってくれるそばが大好き。「自分で作ってみたいと思ったの!」と張り切って生地を踏み練りました。

親子 そば打ち体験教室

8月16日⑤に邑楽町公民館で、親子そば打ち体験教室が行われました。そば粉に水を加えて練っていく作業に始まり、薄く四角くのぼす作業を経て、最後は包丁を使ってそばを切り、ゆで上げて完成しました。手作りの料理のおいしさ、一緒に作る楽しさを実感した一日でした。



長かった夏休みが終わり、2学期がスタートしました。日焼けした子どもたちを見ると、充実した夏休みを過ごしたことが分かります。子どもたちはこの夏、どんな夏休みを過ごしたのでしょうか。町内でもたくさんの行事が開催されました。行事に参加した家族の夏の思い出を紹介します。



今年の夏休みは海水浴をしに海へ行ったり、キャンプをしに山へ行ったりなど、たくさんお出かけをした大河原ファミリー。お母さんの実由記さんは、以前から木の役割やエコについて興味があったそうで「楓人が工作好きなので参加しました。たくさん木に触れて、工作を楽しんでくれたらいいな」と話してくれました。完成した作品は家の中に飾るそうです。

参加した
大河原ファミリー
(大泉町在住)
実由記さん
楓人さん(小2)
花音ちゃん(6歳)



楓人さんの表札は、お母さんと合作で完成しました。大河原家のシンボルになりそうな力作です。



花音ちゃんは、きらきらのビーズをたくさん使って自分の部屋飾りを作りました。「ひとりじゃつくれないうね、ママといっしょならつくれるの!」と、嬉しそうに話してくれました。



ほんとだあ、
かわいくできたね

できたよ!
ほらーあ!

親子で楽しむ 木工ワークショップ

8月10日⑨に県緑化センターで、親子で楽しむ木工ワークショップが行われました。木に触れて木の良さを学び、物作りを体験する教室です。作るものを決めて、好みの材料を集めると制作開始。どの子も苦勞していた様子でしたが、お父さんやお母さんと協力しながら完成を目指しました。

